

授業科目名	保健医療倫理学		単位数	2単位	時間数	
授業科目名英字	Ethics in Allied Health science		必修・選択	必修	受講対象年	1年次
科目コード	9501020	授業の形式	講義、演習	講義室等	総3講	
開設学期等	前期前半 木曜日 11・12時限 / 前期前半 木曜日 13・14時限					
【担当教員名】	【職名 / 所属】	【研究室番号】	【電話番号】	【担当教員名】	【職名 / 所属】	【研究室番号】
児玉英也	教授 / 保健学専攻 母子看護学講座	C-114	018-884-6513	吉沢文武	非常勤 / 高等教育グローバルセンター	学生支援棟 2階
安藤秀明	教授 / 保健学専攻 臨床看護学講座	C-112	018-884-6471	石川隆志	教授 / 保健学専攻 母子看護学講座	B-407
工藤せい子	非常勤 / 弘前大学大学院保健学研究科					
授業の目的・到達目標						
<p>授業は、医療における様々な生命倫理の問題を理解し、倫理的課題や葛藤を分析して解決に向けて思考する能力を養うことを目的としています。保健医療に従事する専門職は、様々な場面で自らの行動を律する高い倫理観が求められますが、医療技術の進歩や人々の権利意識の高まり、価値観の多様化等により、多くの倫理的問題に直面します。そのような時代背景を踏まえ、この授業では最新の生命倫理のトピックや動向を概観し、保健医療従事者に求められる適切な倫理的判断や行動ができるようになることを、到達目標としています。</p>						
授業の概要と進行予定及び進め方						
<p>授業は、生命倫理の様々な分野を専門とした教員が、内容をオムニバス形式で教授します。授業は講義、プレゼンテーション、ディスカッション、レポート作成等により進行し、教員によってはeLearningを活用する場合があります。詳細は、授業の内容に記載してありますので、授業の前に必ず確認してください。事前課題がある場合は、それを行ってから授業に臨んでください。事後学習の課題は、必ず提出してください。尚、第6-9回の授業はWebによる遠隔授業が可能です。希望者は事前に担当教員に連絡してください。</p>						
成績評価の方法		教科書・参考書・参考文献等				
<p>講義やディスカッションへの参加状況、プレゼンテーションの内容、レポートから総合的に評価します。</p>		教科書等	書籍名	著者	出版社	
		参考書	『医療倫理学の方法』	宮坂道夫	医学書院	
コメント		第12回から15回の講義は集中講義です。9月5日(金)5-8時限で1時間の延長有り(12:50-17:30)、9月6日(日)1-4時限(8:50-12:00)で行います。				
授業展開		Web受講	授業内容			
第1回	11-12時限	x	生命・医療倫理とは何か、そもそも倫理学とは何かについて学ぶ。とくに、倫理学における基本的な考え方について検討する。【事後学習】授業で配付する資料によって授業内容を振り返り、次回授業内での作業と議論のための準備課題を行ってください。			
【担当】 吉沢文武						
第2回	11-12時限	x	生命・医療倫理の歴史と背景、制度について学ぶ。とくに、生命・医療倫理の諸原則と方法論の基本について考察する。【事後学習】授業で配付する資料によって授業内容を振り返り、次回授業内での作業と議論のための準備課題を行ってください。			
【担当】 吉沢文武						
第3回	13-14時限	x	産科診療における出生前診断の現状と課題について学ぶ。出生前診断、胎児条項に関わる人工妊娠中絶の是非に関して倫理面の探究を行う。【事前学習】授業には、WebClassの資料を事前に準備してから受講してください。【事後学習】授業内容を踏まえてweb等で自己学習し、課題のレポートをWebClassにて提出してください。			
【担当】 児玉英也						
第4回	11-12時限	x	生命・医療倫理の諸原則、方法論のそれぞれについて学ぶ。とくに、倫理原則の役割と意義について考察する。【事後学習】授業で配付する資料によって授業内容を振り返り、小レポートを提出してください。			
【担当】 吉沢文武						
第5回	13-14時限	x	生殖医療の現状と倫理的な課題について学ぶ。配偶子の供与、代理懐胎などの倫理問題を倫理的にどう考えるべきなのかを探究する。【事前学習】授業には、WebClassの資料を事前に準備してから受講してください。【事後学習】授業内容を踏まえてweb等で自己学習し、課題のレポートをWebClassにて提出してください。			
【担当】 児玉英也						
第6回	11-12時限		人生の最終段階における意思決定支援について学ぶ。グループワークも行うので、遠隔授業予定者は、事前に担当教員 (andoh@gipc.akita-u.ac.jp) に連絡すること。【事前学習】WebClassで「人生の最終段階における意思決定支援ガイドライン」等の資料を配付するので、事前学習しておくこと。			
【担当】 安藤秀明						
第7回	13-14時限		人生の最終段階における意思決定支援について学ぶ。グループワークも行うので、遠隔授業予定者は、事前に担当教員 (andoh@gipc.akita-u.ac.jp) に連絡すること。【事前学習】WebClassで「人生の最終段階における意思決定支援ガイドライン」等の資料を配付するので、事前学習しておくこと。			
【担当】 安藤秀明						
第8回	11-12時限		スピリチュアルベイン・スピリチュアルケアの実践について学ぶ。【事前学習】各自、これまでスピリチュアルベインをかかえた事例さらにスピリチュアルケアを行った事例についてまとめておく。授業の時にひとり5分程度で発表してもらいます。			
【担当】 安藤秀明						
第9回	13-14時限		スピリチュアルベイン・スピリチュアルケアの実践について学ぶ。【事前学習】各自、これまでスピリチュアルベインをかかえた事例さらにスピリチュアルケアを行った事例についてまとめておく。授業の時にひとり5分程度で発表してもらいます。			
【担当】 安藤秀明						
第10回	11-12時限	x	リハビリテーション医療の実践場面における倫理問題の事例を提示し、問題解決の取り組みについて探求する。身近な倫理問題について共有し、その対応と解決について探求する。【事前学習】事前に配信(配布)した事例は事前に読んでおくとともに、問題解決について考察しておくこと。			
【担当】 石川隆志						
第11回	13-14時限	x	リハビリテーション医療の実践場面における倫理問題の事例を提示し、問題解決の取り組みについて探求する。身近な倫理問題について共有し、その対応と解決について探求する。【事前学習】事前に配信(配布)した事例は事前に読んでおくとともに、問題解決について考察しておくこと。			
【担当】 石川隆志						
第12回	5-6時限	x	看護倫理教育の歴史の変遷とその意義について概説する。1. 医療の質と臨床倫理について、2. 医療職者の責任と倫理、3. 医療倫理の基本となるケアリング、4. ケアリングの理論的根拠であるコミュニケーション理論			
【担当】 工藤せい子						
第13回	7-8時限	x	倫理的問題の意思決定ツールについて概説し、今後の課題・発展性について探求する。1. 倫理的問題と意思決定ツール(トンブソンの10段階ステップモデル、ジョンセンらの症例検討シート(4分割表)、サラフ・フライの看護実践の倫理的概念枠組み)、2. 倫理的問題解決のための今後の課題と発展性			
【担当】 工藤せい子						
第14回	1-2時限	x	ケアリングの哲学・倫理学の背景(マックス・シェラーとエマニュエル・レヴィナス)、ケアリングの理論家(ギリガン、ノディングス、メイヤロフ、ワトソン、モンゴメリー)について概観する。			
【担当】 工藤せい子						
第15回	3-4時限	x	看護の実践場面における倫理問題の事例を提示してグループ演習を行い、問題解決のための取り組みについて探求する。看護者の倫理綱領に基づいた実践、管理、教育、研究の自律をめざしたシステム作りを探求する。【事後学習】授業内容を踏まえ自己学習し、課題のレポートを提出する。			
【担当】 工藤せい子						